

2019年12月16日

日本最大の炉筒煙管ボイラを追加導入しました

当社第2プラントにおいて、地区内の開発に伴う温熱需要の増加に対応するため、日本最大容量の炉筒煙管ボイラ（蒸発量36.0t/h）を2019年12月に追加導入しました。

当ボイラは、2010年、2014年に導入したボイラと同型機種で、3台目の導入になり、限られた機器設置スペースを有効活用することができます。

今後も地区内の開発に合わせて設備を增強し、熱供給の安定性をより一層高めていきます。

表：当社の炉筒煙管ボイラ仕様

	第2プラント 新設	第2プラント 既設	センタープラント 既設機器	
ボイラ容量	36.0 t/h	36.0 t/h	15.0 t/h	24.0/9.6 t/h
設置台数	1台	2台	1台	各1台
ボイラ効率 (エコマイザー 回収量を含む)	93%以上	93%以上	92%以上	
設置年数	2019年	2010年 2014年	1993年	1988年

※ボイラ効率：ボイラに供給される燃料の総熱量に対する発生蒸気の吸収熱量の割合。

$$\text{ボイラ効率(\%)} = \frac{(\text{蒸発量}) \times (\text{蒸気の保有熱量} - \text{給水の保有熱量})}{(\text{燃料消費量}) \times (\text{燃料の低位発熱量})} \times 100$$



2019年12月 第2プラントに増設した日本最大の炉筒煙管ボイラ